

令和2年度生涯現役促進地域連携事業 情報交換会(2021/1/28)

# 徳島県における 生涯現役促進地域連携事業

徳島県生涯現役促進地域連携事業推進協議会

TEL088-676-4421 FAX088-665-5551

URL <http://syougai-geneki.com/>

# 1. 協議会の目的と取組概要

## ○目的

「高年齢者（シニア世代）＝支えられる側」というイメージを転換し働く意欲のあるシニア世代の能力や経験を活かすことで、徳島県における労働力不足の解消と年齢に関わらず働くことができる「生涯現役社会」の実現を図る

## ○取組概要

アクティブシニアに対する再就職のためのサービス	事業所に対するシニア活用促進のためのサービス	マッチングサービス	モデル事業
<ul style="list-style-type: none"><li>①再就職相談窓口</li><li>②再就職応援セミナー</li><li>③就労応援マガジン発行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>①訪問によるシニア世代活用プラン提案と仕事開拓</li><li>②シニア世代活用セミナー</li><li>③シニア世代活用応援情報誌発行</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>①ホームページでの情報発信</li><li>②職場見学・職場体験</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>①廃校小学校活用による高年齢者就労拡充モデル事業</li><li>②労働力不足産業（農業）に対する労働力サポートモデル事業</li></ul>

# (1) アクティブシニアに対する再就職のためのサービス

## ①再就職相談窓口（3か年実績 1,031人：うち968人登録）

毎月一回、各ハローワーク等に特設窓口を設けシニア世代（55歳以上の方）の就職活動の相談・求人情報提供・働き方のアドバイスを実施



## ②再就職支援セミナー（3か年実績 延335人受講）

社労士や専門講師による「今後の生活設計に備えたプランニング知識と働き方」や「スキルアップのための」セミナーを実施



## ③就労応援マガジン（3か年実績 7回発行）

高齢期になってもいきいき働く人の事例紹介や求人情報・セミナー情報などを盛り込んだ情報誌を定期的に発行



## (2) 事業所に対するシニア世代活用促進のためのサービス

### ①シニア世代活用プラン提案と仕事開拓（3か年実績 延697回）

当協議会の支援員が事業所を訪問し、シニア世代が就業可能な分野（仕事の切り出し）の聞き取りや提案等を行い、就労マッチングへの支援を実施



### ②シニア世代活用セミナー（3か年実績 延186社）

シニア世代活用の必要性や有用性の理解を深めていただき、アクティブシニア活用を促進していただくためのセミナーを各地域で開催



### ③シニア世代活用応援情報誌発行（3か年実績 6回発行）

シニア世代を事業所で積極的に活用いただくため、シニア世代の就労活用に特化した情報（国や県等の政策や助成制度、好事例や働き方の提案等）を盛り込んだ情報誌を定期的に発行し、事業所のシニア世代活用意識を啓発



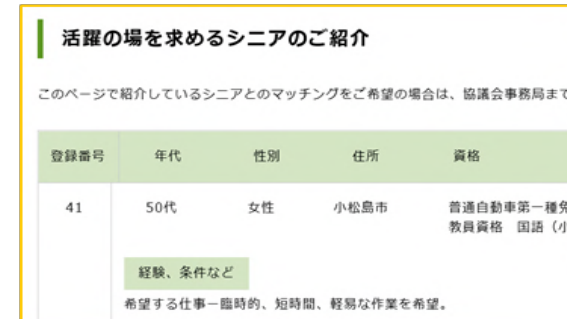
事業所の  
「シニア世代  
雇用」の  
ヒントに！

## (3) マッチングサービス

### ①ホームページでの情報発信（3か年実績 2,122求人）

・事業所訪問等によりご賛同いただいた事業所の求人情報は、当協議会のホームページに掲載させていただき、アクティブシニアの皆さんに広く情報発信 <https://syougai-geneki.com/>

・令和2年度より同ホームページにて、アクティブシニア登録者の資格保有状況など「見える化」スタート



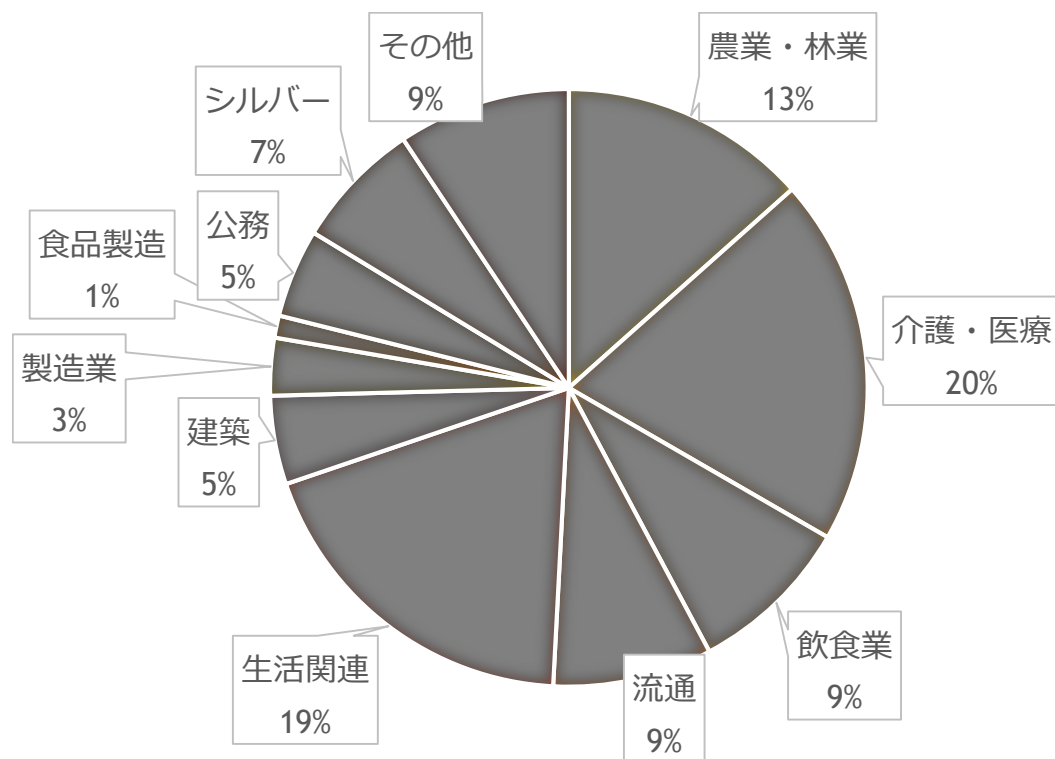
### ②職場見学・職場体験（3か年実績 47回）

希望するアクティブシニアを対象に職場見学・体験を実施。未経験の職種や企業の雰囲気を経験することにより再就職の選択肢を広げる



## (4) 事業活動による成果

	目標	実績	達成率
雇用・就業者数	180人	417人	231.7%



## 2. 仕事の切り出し、就労の場の開拓について

### (1) 事業所訪問によるシニア世代活用プランの提案と仕事の開拓

#### ☆農業 = 徳島の基幹産業

問題点 農家の高齢化等による恒常的な人手不足



とくしま銀の援農センターを設置！！

あなたの力が徳島県の農業を支える  
とくしま銀の援農センター

※とくしま銀の援農センター(援農センター)は、徳島県生涯現役促進地域連携事業の一環として行うもので、「高齢者の就労拡充」と「地方創生」の実現に向け、「高齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づいて行う国(厚生労働省)の事業です。

# 援農者 募集!!

労働力不足で悩む県下の農業者等を支援できる援農者を募集しています。

農業に興味がある方	農業の楽しさ・収穫の喜びを体験してみたい方	自然環境の中で汗を流して働いてみたい方
人手を必要とする 農家・農業法人・農協 など	就業イメージ マッチング 援農センター	農業に興味を持ち 就労を希望する 高齢求職者
・恒常的な人手不足 ・一時的な人手不足 ・バックヤード作業人材	仕事内容 ・野菜・果物類などの収穫作業 ・季節作物の出荷作業 ・高作物等の店頭販売 ・食品加工の工場作業 ・種、野菜の育苗作業のお手伝い など	・フル勤務希望 ・短時間労働希望 ・シルバー人材センターでの就業

**会員登録中** 援農をやってみてみたい方は「部の援農センター」にぜひご登録ください。(登録料無料)  
徳島県生涯現役促進地域連携事業推進協議会事務局にて会員登録を随時受付しております。

**登録には**

- 登録資格 55歳以上の求職者の方
- 登録方法 当協議会農業支援担当までお問い合わせください。
- 受付時間 9:00 ~ 16:00 (土日祝日を除く)

**お問い合わせ**

徳島県生涯現役促進地域連携事業推進協議会  
〒771-0134  
徳島市川内町平石209-5 徳島健康科学総合センター1階  
(公益社団法人徳島県シルバー人材センター連合会内)  
TEL.(088)676-4649 FAX.(088)665-5551  
(農業支援担当: 隔方)  
E-mail: syougai-geneki@sjc.ne.jp  
URL: http://syougai-geneki.com

※このチラシは、厚生労働省発表/平成30年度生涯現役促進地域連携事業により作成しました。

#### ○直面した課題・問題点

- ①存在と活動内容の認知
- ②農業組織（団体）との連携
- ③求職者と作物の地理的な乖離
- ④ニーズのミスマッチ
- ⑤農業に興味はあるがノウハウがないシニア

# ○課題・問題点の原因と対応策

## ①存在と活動内容の認知

**原因**・・・事業内容が簡潔に分かりやすく整理できていない

⇒職員会議を繰り返し、仕組みの明確化・共通理解を図り、分かりやすい説明資料（チラシ含む）の作成

**原因**・・・告知不足

⇒新聞折込チラシ、ポスター（HW・社協・シルバー・スーパーなど）

農業業界紙、協議会構成団体による周知、情報誌ワークライフ・ワークスタイルへの掲載

## ②農業組織（団体）との連携

**原因**・・・組織が複雑、新しいものへの警戒心が強い、担当者の温度差

⇒（しつこいくらいの）訪問、相手の痒い所に協力（先方主催の体験会等人員確保 など）

先方が開催する会議への出席、JAの無料職業事業（求人）への全面協力

わたしどもは競合しません！お手伝いします！

WIN  
WIN!



### ③求職者と作物の地理的な乖離

**原因**・・・生産地がばらばら、過疎地域ほど高齢化により人手不足が顕著

⇒生産者支援 県下全域展開、シルバー人材センターとの連携

⇒シニア支援 近くの生産地へのマッチング、、、交通費の交渉

### ④ニーズのミスマッチ

**原因**・・・農作業の全体を一日中手伝って欲しい農家側と

体力的・能力的観点から農作業の一部を短時間手伝いたいシニア

⇒仕事の切り出し（シニアの意向を細かく聞き取り、その上で農家や農協

担当者に対し、シニア世代が就業可能な仕事）提案 ←シニア目線に立ちたいが実際には非常に難しい

バックヤード的作業（作物の洗い・選別・箱詰め等）を中心にマッチング

**原因**・・・逆に一年中途切れなく働きたいシニアと繁忙期だけ手伝ってほしい農家側

⇒農協の無料職業紹介所との連携により、途切れないように仕事を紹介

### ⑤農業に興味はあるがノウハウがないシニア

**原因**・・・これまで農業に携わったことがない（移住者・体力維持のため）

⇒マニュアルの作成や農作業体験の実施

# 農作業マニュアルの作成

# 農作業体験



人参の収穫作業



人参の洗い・選別作業



さつまいもの収穫作業

農業支援センター監修

## ☆医療・介護＝全国トップレベルの介護環境

問題点 事業所からの求人数もトップレベルであり、高齢化に伴い恒常的な人手不足



「シニアの労働力で徳島の介護現場を活性化させよう！」

### ○直面した課題・問題点

- ①求人の年齢制限
- ②事業所側が労働者に求めるものが多い
- ③3Kイメージ
- ④興味はあるが自信がない

# ○課題・問題点への対応策

## ①求人の年齢制限

**原因**・・・シニア世代は体力的に困難、、、？  
(特に65歳以上はフルタイム求人が皆無)

⇒事業所側 年齢に拘らず人物評価を求める

⇒シニア側 パートタイム等Wワークを提案

## ②事業所側が労働者に求めるものが多い

**原因**・・・有資格者の人手不足、施設の資質維持・向上

⇒無資格でも就業可能な仕事の細分化（介護補助・生活援助等）、介護周辺業務の切り出し  
(送迎車の運転、調理の補助・配食・清掃・物品補充、警備・宿直など)、スキルアップ

## ③3Kイメージ

**原因**・・・親の介護経験、周りからの情報等で3Kイメージが強い、

⇒介護現場の見学・職場体験や在職シニアからのアドバイスで不安払拭

#### ④興味はあるが自信がない

**原因**・・・無資格・未経験、人間関係が複雑？

⇒・スキルアップのための講習等の開催

(介護職調理補助員養成講習・生活援助従事者研修)

・職場見学・体験の実施

・シルバー人材センター連合が行う講習の紹介

(介護職員初任者研修、介護送迎車運転講習 等)

・有資格者でなくでも就業可能な仕事の切り出しの提案、きめ細かなフォローアップ

・シルバー人材センターへの入会促進（「福祉・家事援助業務」の紹介）

【家事援助】・掃除・買い物・洗濯・食事作り・身の回りのお世話・ガラスふきなどの大掃除

【介護・福祉サービス】・話し相手・通院や外出の介助・薬の受け取り



介護職調理補助員養成講習



## (2) 廃校小学校活用による高年齢者就労拡充モデル事業

問題点 観光客増加が見込まれる中、施設とサービス人材が不足



「廃校小学校を活用して地元（シニア世代）が運営する  
宿泊施設を整備しよう！！」

- ▶ 平成29年度：各セミナー（PC講習・調理講習・ホテルアシスタント講習・外国語講習）の実施により人材育成に努めるとともに、地元アンケート調査やホテル宿泊業務のためのマニュアルを作成し宿泊客を受け入れるにあたっての体制を整備
- ▶ 平成30年度：セミナーは、ほぼ当初計画通り実施できたが、宿泊施設の開設については地域の意見がまとまらず2018年3月「第11回川崎小学校の有効活用を考える会」を最後に一旦保留。それに伴い宿泊施設の整備は断念することとし、厚生労働省にも相談の上、本モデル事業内容を一部方向転換することとした
- ▶ 令和元年度：地域性に考慮したセミナー実施及び参加したシニア世代に対し宿泊施設等への就業につなげたり、シルバー人材センターへの登録を促すなど、シニア世代の就業の場を創出

# 就業の場の創出

## ○シニア世代支援

- ▶ 人材育成による自分磨きと新たなチャンスの発見
- ▶ 働くことへの意識啓発
- ▶ 「観光地ならではの」新しいビジネスへの参加促進
- ▶ シルバー人材センターへの入会促進

## ○事業所支援

- ▶ シニア世代受入れに対する意識啓発
- ▶ 仕事の切り出しの提案
- ▶ 地域おこし協力隊のその後（起業）にシニア世代を活用



### 3. 徳島県生涯現役促進地域連携事業における課題

- ▶ コロナ不況によりシニア世代失業者が急増
- ▶ コロナ不況により採用を控える事業所が急増
- ▶ 介護現場の人手不足はますます深刻
- ▶ コロナ感染を恐れ、特に介護現場への就業を拒むシニア世代が増加
- ▶ シニア世代ニーズと事業所ニーズのミスマッチ
- ▶ シニア世代活用に消極的な事業所の意識啓発
- ▶ 県下全域のサポート

### 4. 第2ステージへ

平成29年度から令和元年度までの生涯現役促進地域連携事業において培ってきた徳島ならではの取組を今後ますます深化させ地域課題解決のため新たな事業展開を進めていく